

単元名

「大野のステキを見つけよう」
～大野の達人から学ぼう～

【関連のある SDGs の目標】



【単元の目標】

大野の達人（和菓子作り・烏神太鼓）から学ぶことを通して、大野の伝統文化に関心をもつと共に、人との関わりや大野の良さについて考え、ふるさとを大切にしようとする態度を育てる。

【連携諸機関・人物】

- ・妹背製菓 伊藤 彰二さん
- ・烏神太鼓メンバーの皆さん
（リーダー 三好 哲幸さん）

◆学習活動の実際（全 28 時間）

学習活動	他教科等との関連
<p>〈大野に伝わる伝統文化に関心をもつ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県には、どんな伝統文化や祭り、名産品があるかなどを考え、地域の伝統文化への関心を高める。 ・大野祭りの様子や2年生の時の町探検の経験などから、大野にもステキな伝統の文化があることに気付く。→妹背製菓の和菓子、烏神太鼓 <p>〈情報の収集①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学年の児童や家族、地域の人へのインタビューやアンケートにより、大野の伝統がどれくらい認知されているかを調べる。 ・インターネットや図書を活用して、大野の伝統文化について情報を集める。 →低学年の子供達には大野の伝統文化はあまり知られていない。 →もっと情報を集めるために、伝統文化に関わる人達から話を聞いたり、体験をさせてもらったりしたい。 <p>〈課題の設定〉</p> <p>ふるさとの伝統文化について調べ、そのステキを周りの人たちへ伝えよう！</p>	<p>【社会科】「文化財と年中行事」において学習した「広島県に伝わる伝統文化」を導入の意識付けに結び付けた。</p>
<p>〈情報の収集②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妹背製菓の伊藤さんからお話を聞かせてもらい、和菓子作りの体験活動を行う。 <p style="text-align: center;">〈和菓子作りの様子〉</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・烏神太鼓奏者の三好さんからお話を聞かせてもらい、和太鼓の体験活動を行う。 <p style="text-align: center;">〈和太鼓体験の様子〉</p> 	<p>【国語科】「お願いやお礼の手紙を書こう」において身に付けた「目的に合わせて書くことを選び、事柄を整理し、相手意識を持って丁寧な言葉で書く力」を「自分たちの学びや考えを手紙に書いて伝える活動」に活用させた。</p>

〈整理・分析〉

- ・集めた情報をもとに、地域に伝わる伝統文化の価値について考え、それを守っていく人達の思いや願いについて話し合う。

〈まとめ・創造・表現〉

- ・お世話になった方々に、自分達の学んだことや考えたことを手紙にして届ける。
- ・大野の伝統文化のステキなところを伝えるための壁新聞作りに取り組む。
- ・学校の階段横の壁に掲示して、いろいろな学年の人達に読んでもらう。



〈振り返り〉

- ・学習の振り返りを行い、達人たちから学んだ「大野のステキ」について、これから守り伝えていくための自分の考えをまとめる。

〈壁新聞掲示の様子〉

【国語科】「みんなで新聞を作ろう」において身に付けた「目的に合わせて伝える内容を選んだり、色の使い方やレイアウトを効果的に工夫したりする力」を「新聞記事を書く活動」に活用させた。

【児童生徒の感想・振り返り】

- ・和菓子作りは簡単そうに見えていたけど、やってみると、形を整えるのが難しかった。手で持っていると、すぐにやわらかくなり大変だった。けれども、その分出来た時の達成感があった。
- ・体験してみると予想以上に難しく、和菓子作りの達人はさすがだと思った。プロになるために、苦労していたんだなとしみじみ感じた。
- ・烏神太鼓を体験してみて、その音の大きさやばちの重さにびっくりした。
- ・太鼓は難しそうと思っていたけれど、たたいてみるととても楽しかった。教えてくださった人は、太鼓の楽しさをみんなに知ってもらうために、いろいろなくふうをしているんだなと思った。
- ・いろいろな太鼓の種類があったので、もっと調べてみたいと思った。
- ・大野にもいろいろな伝統文化があり、それを守っている人達がいるのがすごいと思った。和菓子や烏神太鼓の素晴らしさをもっとたくさんの人達に知ってもらいたいと思った。

【効果のあった「授業展開」または「指導の工夫」等について】



【児童生徒の変容】

- ・新型コロナウイルス感染対策で、食べることはできなかったが、達人のご厚意で本物の練り切りを使って和菓子作り体験をした。
- ・烏神太鼓の歴史について聞き取りをするだけでなく、体験活動をすることで、太鼓の楽しさを味わわせ、大野で太鼓を広めてきた人達の思いに迫った。
- ・社会科との関連で、他地域の伝統文化や行事、祭りなどと比較させながら、自分達の住む地域のことを調べさせた。

- ・簡単そうに見える和菓子作りの難しさや、達人の技術の高さを体感させることができ、それが多くの気付きにつながった。
- ・烏神太鼓を広めてきた人達の苦労を知るだけでなく、太鼓の楽しさや達人の演奏技術の高さにも気付き、その思いを広めたいという気持ちをもつことができた。
- ・自分達の住む大野にも、他地域に負けない素晴らしい伝統文化があることを知り、誇りに思うことができた。

【今後に向けた「改善点」】

- 今年度は、新型コロナウイルス感染対策のため、体験活動や学習後の発表の場にも制限があった。
 - ・来年度、制限が緩和されるならば、インタビュー活動や調べ活動などで、もっと地域の人との交流の場をもっていけるとよい。
 - ・学習したことの発表の場が、壁新聞のみで一方通行になってしまった。「3年生への発表」など対象を絞るとよかった。相手意識をもたせて内容を考えさせると共に発表後の感想を聞くことでもっと深まりのあるものにしていく必要がある。
- 課題に対して、自分の伝えたいことがはっきりしている児童とそうでない児童では、新聞作りへの取り組み方に差が出た。もっと自分の考えをはっきりさせた上で、調べ活動や体験活動に取り組ませていくとよい。